

う ん て い 【中学年 4 - (1)】

- 自分の生活と重ね合わせ，道徳的価値に迫る取組み -

(1) 主題名 きまりを守って [4 - (1)] 関連項目 [1 - (1)]

(2) ねらい 人に迷惑をかけず，社会のきまりや公德を大切にしようとする態度を養う。

(3) 資料名 「うんてい」

(4) 授業の展開例

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	留 意 点
導 入	1 休憩時間の自分の生活について考える。	休憩時間にする遊びでどんな遊びが好きですか。 ・一輪車 ・ドッジボール	自分たちがしている遊びについて考えることで，資料への関連付けをする。
展 開	2 資料を読み，話し合う。	誘い合って，うんていまで走っているとき，ゆうたろうはどんなことを思っているでしょう。 ・早く行かないと，他の人にとられてしまう。 ・時間いっぱい遊びたいから急ごう。 ・今日も楽しく遊ぼう。	これまでの生活経験等を思い起こしながら主人公の心情に共感させる。
	3 思わず顔を見合わせた主人公の心情について考える。	ふみとゆりに注意されたとき，ゆうたろうはどんな気持ちだったでしょう か。 ・気をつけて遊べばあぶくない。 ・うるさいことばかり言う人たちだな。 ・誰にも，迷惑かけてないからいいよ。	主人公の気持ちによりそって考えさせる。
開	4 今までの自分の生活を振り返る。	思わず顔を見合わせながら，ゆうたろうはどんなことを考えていたでしょう うか。 ・ぼくたちがきまりを守らないから，けがをさせてしまった。 ・きまりを守らないと，他の人に迷惑がかかるんだ。 きまりを守れて良かったと思うのはどんなときですか。	ワークシートを配布し，書く活動を取り入れることにより，主人公の気持ちをじっくりと考えられるようにする。
終 末	5 教師の説話を聞く。	・きまりを守ることは，みんなのためなんだね。	今後への意欲を高めることのできる話をする。

うんてい

「今から休けい時間ですが、今月の生活目標は、『学校のきまりや遊びのルールを守ろう』ですね。よく考えて行動しましょう。」

先生のお話も終わり、休けい時間になりました。今、ゆうたろうのクラスでは、うんていの上を歩く遊びがはやっています。うんていは少し高いけれど、そこをころばずに歩くのはスリルもあって、ゆうたろうはこの遊びが大好きでした。休けい時間になると、さそい合ってうんていまで走っていきます。

ゆうたろうたちがうんていの上を歩いていると、ふみとゆりがやってきました。

「うんていでそんな遊びしたらいけないって先生に言われたでしょ。そんなことしたら、あぶないわよ。」

「だいじょうぶだよ。落ちないように気を付けているから。それに少しあぶない方が、スリルがあつていいんだよ。」

「きまりをやぶったら、先生におこられるわよ。」

「いつも、おこられているからなれているさ。」

「もつ、しらない。」

二人が行った後も、ゆうたろうたちは、ずっとうんていの上を歩いて遊んでいました。

次の休けい時間、少しおくれて、ゆうたろうたちがうんていに行くと、一年生が集まっています。その中で女の子が一人なっています。

「何しているの。」

ゆうたろうが聞くと、

「よっちゃんが、うんていから落ちたのよ。見て、うんていにたくさん土がついているでしょ。よっちゃん、あの土で手をすべらせて落ちてしまったの。」

見ると、うんていの手すりにはたくさん土がついています。

（ぼくたちのせいだ。ぼくたちがうんていの上を歩いたから、くつの底そこの土がうんていについたんだ。）

ゆうたろうたちは思わず顔を見合わせました。

活用に生かすための実践報告

「うんてい」

1 主題の設定

社会の一員として、他者と共に生きるには、公共心・公德心を持つことが必要である。公共の物を大切にしたり、人に迷惑をかけたりしないといった公德心がなぜ大切なのか、自ら理解し、実践しようとする心情を育てたいと考え、本資料を作成した。

学校の生活目標や学級目標等と関連付けて本資料を扱うとより効果的だと考える。

2 指導過程の工夫

導入については、自分たちの遊びについて振り返ることで、資料への導入としたが、「心のノート」(P69)を使用しての価値への導入も考えられる。

書く活動を取り入れて、主人公の心情に共感させる展開であるが、役割演技等を用いても効果があると考えられる。

終末については「心のノート」(P69)の活用も考えられる。

3 発問の工夫

主人公の心情にそって、発問を構成した。中心発問では、思わず顔を見合わせたときの主人公の心情について、しっかりと共感させて考えることができるよう話合いのし方を工夫してほしい。

また、展開後段での一般化については、学級の児童の実態をよく把握し、これまでの体験が引き出せるよう発問を工夫してほしい。

4 児童の反応(授業後の感想)

- ・ 素直に注意を聞いて止めればよかった。他の人がけがをすることがあるなんて考えもしなかった。
- ・ 自分が楽しいからと言って、きまりを守らないと他の人に迷惑がかかる。今度からしっかり考えて遊びたい。
- ・ やめた方がいいと分かっているけど、楽しい遊びはなかなかやめられない、なんとか迷惑がかからないよう工夫して続けたい。
- ・ 授業後、自分たちの生活を見つめ、普段教室でしている遊びについてあぶなくないよう、人に迷惑をかけないようにルールを変えたり、人に迷惑をかけるような遊びを見たら注意をしたりするすがたが見られた。

5 実践者からの一言

以前実施した、規則尊重に関わる授業の一般化で出された児童の体験をもとに作成した資料である。ずいぶん前のことなので、その時の気持ち等については、教師の期待ほど思い出されなかったが、現在自分たちが夢中になっている遊びに関わることに置きかえての意見が多く出された。事後に自分たちがしている遊び等について考え直し話し合うこともできた。児童にとって自分たちの生活を振り返り、見つめることができやすい資料であった。

(警固屋小学校 胡 敏和)